



敬老お祝い金

9月18日は敬老の日でした。2015年の日本の平均寿命は、男性80,79歳、女性87,05歳で世界一の長寿国となっており、今後も一層高齢化が進むことが予想されます。

毎年、敬老の日に合わせて敬老祝金が支給されますが、今年4月1日から条例の一部が改正となり、敬老祝金の満77歳への支給が廃止になって、満88歳、99歳、100歳以上の支給に変わりました。また、基準日を4月1日に変更しましたので、4月1日現在88歳に達している方への支給となります。

それにしても、満88歳まで敬老祝金がもらえないというのは、残念な変更です。

100歳以上の長寿者

100歳以上の長寿者の数は、下の表のとおりです。平均寿命が示すように女性の長寿者の方が多くなっていますね。

習志野市 100歳以上長寿者数 (9/1 現在)

	男	女	合計
2017年 最高齢	4人 102歳	49人 105歳	53人
2016年 最高齢	6人 101歳	51人 106歳	57人
2015年 最高齢	5人 105歳	43人 105歳	48人

【注】各人数の下段は最高齢者です。

9月市議会

習志野市議会は、一般質問(各議員が市政について質問するもの)、各常任委員会、補正予算のための予算委員会が終わりました。私、藤崎は13日に一般質問を行いましたので、先週に引き続き、ご報告します。

(2) 外国籍の児童の増加による問題

この問題を取り上げたのは何故か？まず現状をご説明します。

今、日本には200万人以上の外国人住民
(裏面に続く)

		9月市議会日程
9月	1日(金)	本会議 初日
	4日(月) ~ 7日(木)	議案調査、勉強 同上
	8日(金)	本会議。総括質疑。
	11日(月) ~ 19日(火)	市長への一般質問 同上
	20日(水)	総務・都市環境 常任委員会
	21日(木)	協働経済・文教福祉 常任委員会
	22日(金)	一般会計予算委員会
	25日(月) ~ 28日(木)	委員会報告作成など 最終日に向けた準備。
	29日(金)	本会議。議案、請願など について、質疑、討論、 採決をして、閉会。

が生活をしています。習志野市でも10年ほど前から外国籍の児童が小学校に入学するようになり、ボランティアの方が「言語・文化指導者」として日本語指導・教育補助に関わるようになりました。現在、ボランティアは12名ですが、足りていません。

日本語・文化指導の授業の中で、児童たちは話す言葉・平仮名・カタカナ・漢字・文章などを勉強しています。さらに大変なのは通常のクラスで教科の授業を受ける時です。教科の内容を日本語で理解する事は大変で、しばらくは全く理解できずに、授業が終わってしまうという「苦痛な」期間が続きます。このような現状には問題があり、一刻も早く改善されなければなりません。このような背景から、今回質問をしました。

【藤崎】

言語・文化指導者派遣の予算は？

【担当：教育委員会】

外国籍の児童の増加に伴い、予算は昨年より増額していて、来年度については児童の実態や、言語・文化指導者の活動状況を見て、対応していく。

【藤崎】

外国籍児童の保護者も日本語が理解できない場合もあり、学校からのお便りが伝わらないことがある。これまで、言語・文化指導者の方がその都度、お手紙を翻訳してくださっている。

しかし、WEBサイトで「学校からのおたより」を外国語でダウンロードできるサービスが利用できることで、これらを活用して外国籍の児童に係る事務を体系化し、ボランティアのかたの負担を軽減する取組みはできないか。

【教育委員会】

今後、各学校に、日本の学校制度の紹介

や、学校からの連絡文の翻訳集のサイトなどを活用してもらい、日本語の理解が難しい児童や保護者への支援の体制を整えていきたい。

【藤崎】

言語・文化指導者の指導の指針や体系的なものは何もない。もっと研修の機会を増やせないか。

【教育委員会】

現在、言語・文化指導者には研修の義務が無いが、千葉県の研修等の案内を行っている。

【藤崎】

言語・文化指導者の指導は、原則、日本語能力アップと日本で生活するための文化の違いを埋めること。教科の学習の補助は求められていない。

しかし、外国籍の児童が日本で暮らしながら、きちんと学習できないのは問題。学習のための指導者の配置について、県に対して要望してもらえないか。

【教育委員会】

習志野市国際交流協会と千葉県国際交流センターに紹介を依頼している。県教育委員会にも教員の加配（多く配置すること）の要望をしている。

【要望】

私たちは日本の子どもも外国籍の子どもも、等しく子どもの権利を守り、等しく成長を支える責任がある。外国籍の児童が日本を理解して、日本人の児童と同じように生活や学習をすることができて、日本を第2の故郷と感じてくれるため、また、言語・文化指導者のボランティアの方が指導しやすい環境を整えるため、一層の取組みを要望する。

◎次の質問のご報告は次回に続きます。